

---

## 平成 28 年度 麻布大学教育セミナー in さいたま (市民公開講座)

### 開催概要

---

- ・日時：平成 29 年 2 月 19 日 (日) 13:00~17:00 / セミナー (参加費無料)  
17:15~ / 情報交換会 (会費制)  
※受付開始は、12 時 15 分から
  - ・会場：ラフレさいたま (埼玉県さいたま市中央区新都心 3-2)  
(JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心駅」下車 徒歩約 7 分)
  - ・対象者：一般の方、  
獣医学・畜産学を学ばれた方、卒業校は問わず、どなたでも参加可能です。
- 

#### プログラム

##### (1) セミナー① 13:00~16:30

テーマ『小動物における尿路結石症の診断と外科的治療』 ※受講者限定：臨床獣医師  
総合司会 / 金子一幸 教授

「猫の腎泌尿器疾患、特に尿管結石の診断と治療」

渡邊俊文 (麻布大学附属動物病院 准教授 / 外科診療担当)

猫の代表的な疾患である腎泌尿器疾患、その中でも近年多発する猫の尿管結石症、特にその診断や治療に苦慮する尿管結石はいったい何が原因なのか。この腎泌尿器系疾患の現状並びに診断と最新治療について講演します。

##### (2) セミナー② 13:00~17:00

テーマ『牛重要感染症の清浄化の取り組み』

総合司会 / 塚本健司 教授

###### ■ 13:00~16:40

BSE と口蹄疫の清浄化を達成した家畜衛生にとって、次の標的はヨーネ病と BVD の清浄化と、増加している牛白血病の対策である。行政と研究の担当者から、目標達成の見通しと課題について情報提供をします。

###### 1- 最近の牛疾病をめぐる状況

菊池 栄作 (農林水産省消費・安全局 動物衛生課 課長補佐)

###### 2- ヨーネ病の清浄化

永田 礼子 (農研機構 動物衛生研究部門 主任研究員)

###### 3- BVD 清浄化への課題と展望

亀山 健一郎 (農研機構 動物衛生研究部門 研究員)

###### 4- 酪農家で実施できる牛白血病の防疫対策

泉對 博 (日本大学 生物資源科学部 教授)

###### ■ 16:40~17:00

総合討論 ゲスト助言者 山川 睦 (農研機構 動物衛生研究部門 海外病研究調整監)

(3) セミナー③ 13:00~17:00

テーマ『野生動物との共存と利用ー被害防除から食肉利用までー』

総合司会／南 正人 准教授・押田敏雄 名誉教授

■13:00~16:30

1ー野生動物問題の現状と課題ーシカの増加を中心にー

南 正人（麻布大学野生動物学研究室 准教授）

近年、各地でシカが増加し、農林業被害、生態系への影響などが深刻になっている。環境省や農水省は対策事業を始めているが、多くの問題がある。シカの問題を中心に現状と課題を説明します。

2ー野生動物による被害の防除ー牧場を例にー

塚田 英晴（麻布大学野生動物学研究室 准教授）

中山間地の牧場では野生動物により家畜飼料や盗食や感染症の発生などの被害が発生する。対策としては電気柵等による進入防止や追い払い、駆除といった手段があるが、野生動物の資源化も検討課題の一つであることを説明します。

3ー駆除されたニホンジカを活用したペットフードの製造販売ー長野県小諸市の試みー

竹下 毅（長野県小諸市役所経済部農林課 野生鳥類専門員）

管理捕獲によるシカの駆除頭数が急増している。このため駆除個体の処分費が高騰している。長野県小諸市では、シカ肉をペットフードとして製造販売し有効活用を図る事業を始めた、現状と課題を説明します。

4ー野生動物の食肉利用

坂田 亮一（麻布大学食品科学研究室 教授）

ハム・ベーコンの製造法の基礎を紹介しながら、現在、我が国で問題になっている食害獣の中でシカ、イノシシの肉の加工法について、動物資源の有効利用の面から、これまでの研究内容について説明します。

5ー国産ジビエの魅力

藤木 徳彦（特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会 理事長）

徐々に流通が始まった国産ジビエの味わいの魅力や機能性を紹介する。消費者として知っておくべきジビエ流通のルールや調理する上での注意点にも触れ、安全でおいしいジビエを普及させるための情報提供をします。

■16:30~17:00

総合討論

(4) 情報交換会 17:15~19:00（会費制）